第 18 講
ゲルマン人の大移動・フランク王国とローマ教会

【ケルト人】ヨーロッパの先住民は (1)〔　　〕だ。ヨーロッパ全域に住んでいた。たとえば現イギリスの (2)〔　　〕人，現フランスの (3)〔　　〕人，現スペインのガリシア人，現トルコのガラテア人はケルト人だ。ケルト人の前期遺跡として現オーストリアの**ハルシュタット文化**と後期遺跡として現スイスの**ラ＝テーヌ文化**が代表的。しかし，(4)〔　　〕・(5)〔　　〕・(6)〔　　〕の３大征服民族に征服され，**現在はアイルランド・スコットランド・ウェールズ・フランスのブルターニュ半島・スペインのガリシア地方に居住するのみ**だ。

【フン族】匈奴（きょうど）説が有力なのがアジア系のフン族だ。前漢時代に東西に分裂した**東匈奴が後漢時代に南北に分裂**。南匈奴は後漢に服属，また五胡（ごこ）の一つとして中国史にとどまる。北匈奴はユーラシア大陸を西進した。**白匈奴とも呼ばれるエフタル**はその一派だ。(7)〔　　〕に率いられたフン族は匈奴ではないかといわれる。ローマに入り教皇 (8)〔　　〕世に説得され退去した。ドナウ中流のパンノニア（現在のハンガリー）がフン族の本拠地。(9)〔　　〕年のパリの東方の (10)〔　　〕の戦いでは**西ローマ帝国・西ゴート・フランク**連合軍に敗れた。アッティラの死後，疫病（えきびょう）・内紛（ないふん）で崩壊した。

【ゲルマン民族の大移動】

ゲルマン民族の原郷は**ユトランド半島（現デンマーク）・スカンジナビア半島南部・バルト海沿岸**だ。先住のケルト人を圧迫しながら南下した。前１世紀頃数 10 の部族国家 (11)〔　　〕を形成した。王・貴族・平民からなる全自由民男子による (12)〔　　〕が最高決定機関。自由民の間では (13)〔　　〕という契約関係があった。**前１世紀のカエサルの『ガリア戦記』と１～２世紀のタキトゥスの『ゲルマニア』**にゲルマン人の実態が描かれている。ローマ帝国には傭兵（ようへい）・下級官吏（かんり）・コロナートゥスとして平和的に移住した。(14)〔　　〕年にフン族がゲルマン人の東ゴート族を圧迫，その東ゴート族に圧迫された**西ゴート族がドナウ川を渡った**。ゲルマン民族大移動が始まった。

解答

（１）ケルト人　（２）ブリトン　（３）ガリア　（４）ゲルマン　（５）ラテン
（６）スラブ　（７）アッティラ　（８）レオ１　（９）451　（10）カタラウヌム
（11）キヴィタス　（12）民会　（13）従士制（じゅうしせい）　（14）375

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【西ゴート族】黒海西岸にいた西ゴート族は (15)〔　　〕に率いられローマ帝国に侵入，410 年には西ローマ帝国のローマを荒廃させたが，この事件が北アフリカ・ヒッポの教父（最大の教父）(16)〔　　〕が『(17)〔　　〕』を著わすきっかけとなった。（もう一つの著作が『告白録』でマニ教徒だった放蕩三昧（ほうとうざんまい）の過去を告白した）。次いで西ゴート族は南フランスに移動しトロサ（現トゥールーズ）を都としたが，フランク族に圧迫されイベリア半島の (18)〔　　〕を都に建国した。(19)〔　　〕年には (20)〔　　〕のイスラーム教徒に征服された。

【東ゴート族】黒海北岸にいた東ゴート族は北イタリアに入り，（西ローマ帝国を滅ぼした）(21)〔　　〕を倒した。オドアケルは東ローマ帝国の総督として (22)〔　　〕に王国を建国したが東ゴート族の (23)〔　　〕により滅亡，しかしアリウス派の東ゴート王国は (24)〔　　〕年に東ローマ（ビザンツ）帝国の (25)〔　　〕により滅亡した。

【ヴァンダル族】現ポーランド東部にいたヴァンダル族は，イベリア半島を経て北アフリカの (26)〔　　〕に建国。ガイゼリック王が 455 年にローマを脅かしたが，534 年に東ローマ帝国の (27)〔　　〕により滅亡した。スペイン南部を通過してアフリカに渡ったので，スペイン南部はヴァンダルの地アンダルシアとなった。

【ブルグンド族】ブルグント族は現ポーランドのオーデル川とウィスラ川の間から，ガリア東部に移動し建国したが，534 年に (28)〔　　〕により滅ぼされた。現フランスのブルゴーニュ地方の語源である。民族叙事詩『(29)〔　　〕』は彼らの伝説がもとだ。

【フランク族】フランク族は (30)〔　　〕川下流から短い距離をガリア北部（現フランス）へ移動，(31)〔　　〕年に (32)〔　　〕家の (33)〔　　〕が全部族を統一し 486 年に (34)〔　　〕を都にフランク王国を建国した。(35)〔　　〕年には (36)〔　　〕でアタナシウス派キリスト教に改宗した。534 年には (37)〔　　〕王国を併合した。(38)〔　　〕（マヨル＝ドムス）のカロリング家が台頭（たいとう）。宮宰とは「家政の長官」のことであり (39)〔　　〕家が世襲（せしゅう）した。その家の (40)〔　　〕が (41)〔　　〕年の (42)〔　　〕の戦い（パリ南西）でイスラーム教徒の (43)〔　　〕軍を撃退した。

解答

(15) アラリック　(16) アウグスティヌス　(17) 神の国　(18) トレド　(19) 711
(20) ウマイヤ朝　(21) オドアケル王国　(22) ラヴェンナ　(23) テオドリック
(24) 555　(25) ユスティニアヌス帝　(26) カルタゴ（現チュニジア）
(27) ユスティニアヌス帝　(28) フランク王国　(29) ニーベルンゲンの歌
(30) ライン　(31) 481　(32) メロヴィング　(33) クローヴィス　(34) パリ
(35) 496　(36) ランス　(37) ブルグンド　(38) 宮宰（きゅうさい）　(39) カロリング
(40) カール＝マルテル　(41) 732　(42) トゥール＝ポワティエ間　(43) ウマイヤ朝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【カロリング朝フランク王国】その子の(44)〔　　〕が教皇ザカリアスの支持で(45)〔　　〕年に**カロリング朝を創始**した。また(46)〔　　〕を討伐(とうばつ)し(47)〔　　〕を教皇ステファヌス2世に寄進(きしん)した（**ピピンの寄進**）。これが教皇領の起源だ。

その子(48)〔　　〕は(49)〔　　〕付近のイベリア半島で(50)〔　　〕朝のイスラーム教徒を破りピレネー山麓(さんろく)にスペイン辺境伯領(へんきょうはくりょう)を設置した。カールのいとこが戦死したが11世紀末に北フランスで成立した騎士道物語『(51)〔　　〕』の題材となった。北東の(52)〔　　〕を平定し(53)〔　　〕までを版図とした。アジア系遊牧民(54)〔　　〕の帝国を滅ぼした。774年には北イタリアの(55)〔　　〕**王国を征服**した。全国を州に分け(56)〔　　〕（グラーフ）を置き，王直属の(57)〔　　〕に監督させ中央集権化をすすめた。中心地は(58)〔　　〕。ここにイングランドから高僧(59)〔　　〕を招いて教会・修道院付属の学校を通じて(60)〔　　〕の普及を図った。これを(61)〔　　〕という。

(62)〔　　〕年には教皇(63)〔　　〕世に戴冠(たいかん)され**西ローマ帝国が復活**した。カールの戴冠の政治的意義は，**ビザンツ帝国の影響から脱却**(だっきゃく)し西ヨーロッパ世界が成立したこと。文化的意義は，**ローマ帝国以来の古典文化（ヘレニズム）とゲルマン人（ゲルマニズム）フランク王カールと教皇（キリスト教）レオ3世が結びついて**西ローマ帝国が復活したこと。つまり(64)〔　　〕と(65)〔　　〕と(66)〔　　〕の3要素が融合(ゆうごう)し**西ヨーロッパ文化の源が形成された**こと。宗教的意義は，**ローマ＝カトリック教会がビザンツ帝国から独立し東西教会の分裂・対立が始まった**ことだ。

フランク王国はカールの孫の段階の(67)〔　　〕年の(68)〔　　〕条約でロタール領（中）とルードヴッヒ2世（東）とシャルル2世（西）に分裂した。ロタールが死にロドヴィコ2世に譲る時の(69)〔　　〕年の(70)〔　　〕条約でロタール領の一部が東と西のフランク王国に割譲(かつじょう)された。こうして**現在のイタリア・ドイツ・フランスの原型**ができた。

解答

(44) ピピン3世　(45) 751　(46) ランゴバルド王国　(47) ラヴェンナ地方
(48) カール（シャルルマーニュ）　(49) エブロ川　(50) 後ウマイヤ
(51) ローランの歌　(52) ザクセン族　(53) エルベ川　(54) アヴァール族
(55) ランゴバルド　(56) 伯(はく)　(57) 巡察使(じゅんさつし)　(58) アーヘン　(59) アルクィン
(60) ラテン語　(61) カロリング＝ルネサンス　(62) 800　(63) レオ3
(64) ヘレニズム　(65) ゲルマニズム　(66) キリスト教　(67) 843
(68) ヴェルダン　(69) 870　(70) メルセン

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第 18 講　テスト

1　ヨーロッパの先住民族は。

①　ケルト人

②　ゲルマン人

③　スラブ人

④　ラテン人

2　以下のうち，アジア系の国は。

①　ルーマニア

②　ハンガリー

③　チェコ

④　ポーランド

3　ゲルマン民族のうち北アフリカに建国したのは。

①　東ゴート族

②　西ゴート族

③　ブルグント族

④　ヴァンダル族

4　ゲルマン民族のうちイベリア半島に建国したのは。

①　東ゴート族

②　西ゴート族

③　ブルグンド族

④　ヴァンダル族

5　ゲルマン民族のうち，建国した国がイスラーム教徒に滅ぼされたのは。

①　東ゴート王国

②　西ゴート王国

③　ヴァンダル王国

④　ランゴバルド王国

6　カール大帝のときのフランク王国の中心地は。

①　パリ

②　アーヘン

③　シャルトル

④　オルレアン

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

7　フランク王国のクローヴィスが改宗した宗派は。
①　アタナシウス派
②　アリウス派
③　アルビジョワ派
④　ネストリウス派

8　ピピン３世が寄進した地方は。
①　ロンバルディア
②　トスカーナ
③　ラヴェンナ
④　シチリア

9　ヴェルダン条約の年号は。
①　843
②　870
③　962
④　1066

10　378 年西ゴート族がローマ皇帝を敗死させたが正しい組み合わせは。
①　ウァレンス　，カタラウヌムの戦
②　ウァレンス　，アドリアノープルの戦
③　ユリアヌス　，カタラウヌムの戦
④　ユリアヌス　，アドリアノープルの戦

11　ヴァンダル王国の建国者は。
①　アラリック
②　テオドリック
③　ガイゼリック
④　リューリク

12　古ゲルマン人は部族の問題をどこで決定したか。
①　民会
②　元老院
③　評議会
④　市参事会

第 18 講　テスト解答

1　①	2　②	3　④	4　②	5　②	6　②
7　①	8　③	9　①	10　②	11　③	12　①

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。